

市民力を生かした

「活力あるおたる」の創造

人口減少の深刻化、超高齢社会の到来、厳しい財政状況、社会資本の老朽化など我が市における社会状況は大きく変化し、それらへの対応が行政課題として急務となっております。

このような時こそ、持続可能な地域社会と活力ある地域経済の確立が必要であり、そのためには、小樽の歴史と伝統の上に立った「市民力」を今こそ結集し、市民・行政と協働で創意工夫をしながら、「活力あるおたる」を創造してまいります。

1 市民力の活用

多様化する市民ニーズや新たな地域課題に応えるためには、市民の皆さんと行政とが協働で市政を運営する良好な関係の確立が必要です。

そのため、市民参加の市政運営を進め「市民力」によるまちづくりを目指します。

2 安心・安全なまちづくり

進展する少子高齢化に対応するため、安心して生み育てることのできる子育て環境や教育環境の整備、高齢者の方々が元気で生きがいを持って暮らせるまち、さらには誰もが健康で心豊かに暮らせるまちが求められています。

子どもからお年寄りまで安心・安全で健康に暮らせる地域社会の実現を目指します。

中松よしはるのまちづくりにあたっての 基本姿勢 Basic posture made with a town

3 魅力ある生活都市の創造

我がまち小樽には、幾多の先人たちが守り育ててくれた個性あふれる歴史、文化、恵まれた自然環境が数多くあります。

これら市民の財産や自然景観を徹底的に活用し、他地域にはない魅力を一層引き伸ばしていくことで、市民一人

ひとりが愛着を深め、誇りを

持って暮らせる「魅力ある生活都市」を目指します。

NAKAMATSU YOSHIHARU

中松よしはるの公約

4年間の7つ重点公約

- ① 全国的知名度をもつようになった小樽観光の充実、グローバル化時代の国際観光への挑戦、後志など広域連携による商工業の振興など、地域経済活性化を推進すると共に、新たな雇用創出による若者の定着を目指します。
- ② 街づくりの核となる稲一再開発を商工団体と連携し、道筋をつけて行きます。
- ③ 26年度開業を目指します。
- ④ 学校統廃合を進め校舎改築や給食環境など教育環境の整備を進めます。
- ⑤ 保育所施設や民間の保育への支援などの子育て環境の整備を努めます。
- ⑥ 高齢者や障害者の方が安心して暮らせる施設整備などの支援体制をつくりまします。
- ⑦ 小樽市の真の財政再建を成し遂げます。



1 様々な連携による地域経済の活性化をはかりまします。

本市の経済を支えているのは多くの中小企業です。中小企業の活用なくして、活性化を考えることはできません。

このため、本市の恵まれた地域資源や知名度など「強み」を活かすとともに、産業間の連携や北後志など他地域との連携によって、新たな商品開発や市場の開拓を進め産業振興を図ります。

また、経済団体との相互連携によって中心市街地の活性化を図ります。

1 経済成長が続く東アジア圏などをターゲットとした外国人観光客の誘致と国際観光の推進を図りつつ経済波及効果を高めていきます。

2 一次二次産業の融合による食を中心とした新たな商品開発やブランド化と、国内外に向けた販路拡大に取り組み、産業の振興や雇用の拡大を図ります。

3 経済団体などと連携を図り、商業環境の変化に対応した商店街づくりを支援するとともに、稲一再開発ビルの再生に向けて積極的に取り組まします。

4 商業港としての機能の充実と港湾振興を図りつつ、クルーズ客船の小樽寄港に向けて積極的な誘致活動を展開するとともに定期コンテナ航路や国内フェリー航路の維持と利用促進を図ります。

5 定住自立圏構想に基づき北後志圏との交流・連携を強化し、広域的な関係を築きます。

2 安心・安全で住みやすい環境整備を進めます。

誰もが安心して心豊かに暮らせるように地域医療体制の充実と子育て支援を推進します。また、高齢者や障がいを持った方々が健康で生きがいを持って生活できる地域社会を実現します。

1 市民病院の統合・新築を進め、災害拠点病院として整備します。また、市内医療機関との連携を図り、小児救急医療の充実など市民のいのちと健康を守ります。

2 「おたる子育てプラン」を着実に推進し、保育環境の整備や支援サービスの充実など総合的な子育て支援を進めます。

3 高齢者や障害者を持った方々が安心して自立した生活を送れることができるよう支援体制を強化します。

4 雷対策や自然災害に向けた体制の強化により、安心・安全なまちづくりを進めます。

5 公営住宅の建替え、公園や道路の計画的な整備など、必要な社会資本の整備により市民生活の利便性の向上を図ります。

3 教育環境の充実と、文化芸術・スポーツの振興を進めます。

教育環境の充実と、文化芸術・スポーツの振興を進めます。

将来を担う子どもたちが心豊かに安心して学ぶことができるよう、教育環境の充実にも努めるとともに、生活の豊かさを実感できるよう文化芸術やスポーツの振興を図ります。

1 未来ある小樽の子供達のために教育力と学力の向上を目指します。

2 少子化への対応と教育環境の整備充実を図るため、小中学校の適正配置を進めるとともに、校舎などの耐震化や改修を推進します。

3 明るく豊かな生活を実感できるように市民の誰もが文化芸術活動やスポーツに親しみ、参加できる環境づくりを進めます。

4 市民共闘の街づくりを進めます。

市民参加により、地域のニーズにあった事業を推進します。行政が一定の役割を果たしつつ、地域社会を構成する市民や企業と行政が協働して、住みよいまちづくりを進めます。

1 市民の意見を行政機関に反映させる仕組みづくりを進めます。

2 市民が市政に対する関心を高め、まちづくりへの参加を進めるため、市民と行政の役割や責任を明確にし、あわせて市民参加のルールなどを定めた「自治基本条例」の策定を推進します。

3 人口減少や少子高齢化が進み、支えあいの機能が低下する中、人と人とのつながりなど地域社会を活性化させるため、コミュニティ活動を支援します。

5 効率的で安定した行財政運営の確立を目指します。

人口が減少し、地域経済が低迷する中、大きな収支の伸びは期待できません。

このため、財政の健全化を基本として、すべての事務事業や行政と民間の役割分担などについて行政評価システムの導入により検証し、見直すとともに積極的に経済政策を進め、効率的で安定した行財政運営の確立を図ります。

